

〔記録〕 登山道の現状調査

実施日:2015/05/28(木)

調査者:佐々木和司、阿部ひろあき



御神坂登山口 (標高約610m)



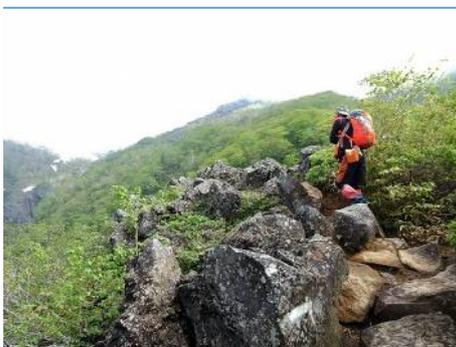
「切接」(国立公園界:標高約870m)



「草鞋脱ぎ場」(標高約1,050m)



同左の表示板



大滝展望台(標高約1,250m)



大滝展望台標柱



大滝展望台から望む大滝



石の鳥居が埋まる (標高約1,360m)



ユキワリコザクラ咲く



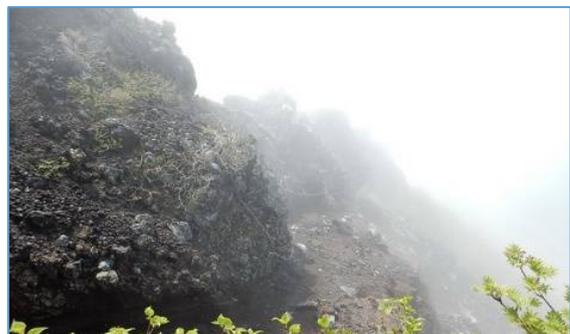
「笠締」(標高約1,520m)



笠締の標柱



固定ロープが設置された個所 (標高約1,560m)
真新しいロープがしっかりと固定されていた。
(固定方法等を見ると、その技量の高さが判る。プロの仕事だ。)





鬼ヶ城分岐標柱（標高約1,875m）



不動平小屋（標高約1,830m）



ミヤマキンバイ咲く



不動平小屋周辺の残雪状況



不動平にシラネアオイも咲き始めた



八合目小屋付近の残雪



御成清水は十分に出ている



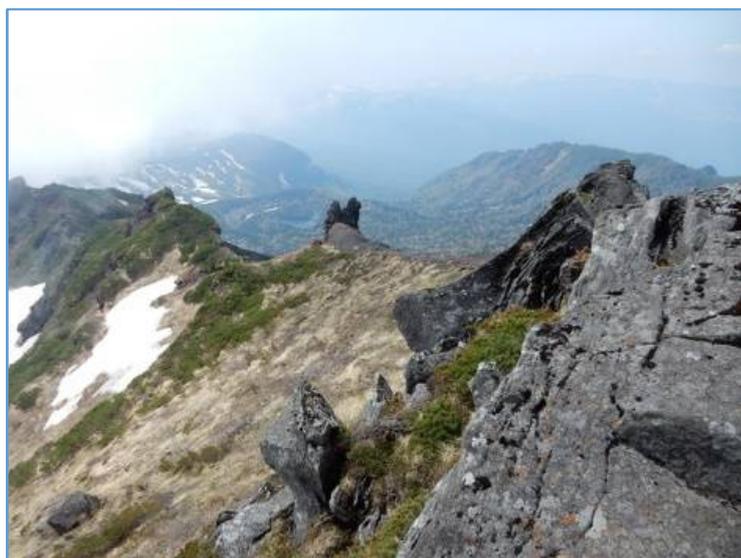
鬼ヶ城分岐付近



鬼ヶ城の残雪状況



鬼ヶ城に行く



鬼ヶ城の雪渓トラバース区間
現在、滑落等の危険性が最も大なる区間



ミネズオウ咲く



鬼ヶ城から大地獄谷付近の俯瞰 残雪が多い



切通直上部の残雪 登山道が判らない



切通の標柱 左手がお花畑コース



黒倉山迂回路の風倒木



姥倉山分岐標柱→



姥倉山裾野のアオトド林内



水場標柱



残雪に覆われる水場



湧出口は僅かに出ている



犬倉山迂回路分岐 これより網張側に残雪無し



元湯展望台付近の木柵破損状況



網張スキー場最上部付近のオオバキスミレ群落



ゲレンデ内にサンカヨウ咲く



スキー場内に残る残雪区間、約30m

【付録】 今回の作業状況等



不動平小屋前で佐々木、阿部



毛布天日干し



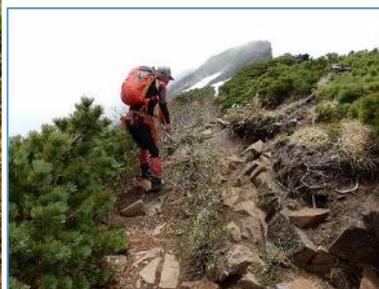
残雪上にコース目印の鉄筋刺し
(小屋前のお花畑に入らぬように)



雪渓下端の水切り補修後



支障木の除去作業



登山道を塞ぐ小枝を除去